

(4) 航空貨物におけるラウンド運送機能の追加



2022年11月10日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1	案件概要	2
2	現行仕様と変更仕様	
2 - 1	再搬入先が元の保税地域への運送	4
2 - 2	再搬入先が別の保税地域への運送 (システムでの保税運送申告の場合)	8
2 - 3	再搬入先が別の保税地域への運送 (マニュアルでの保税運送申告の場合)	11
3	業務別の変更仕様	14

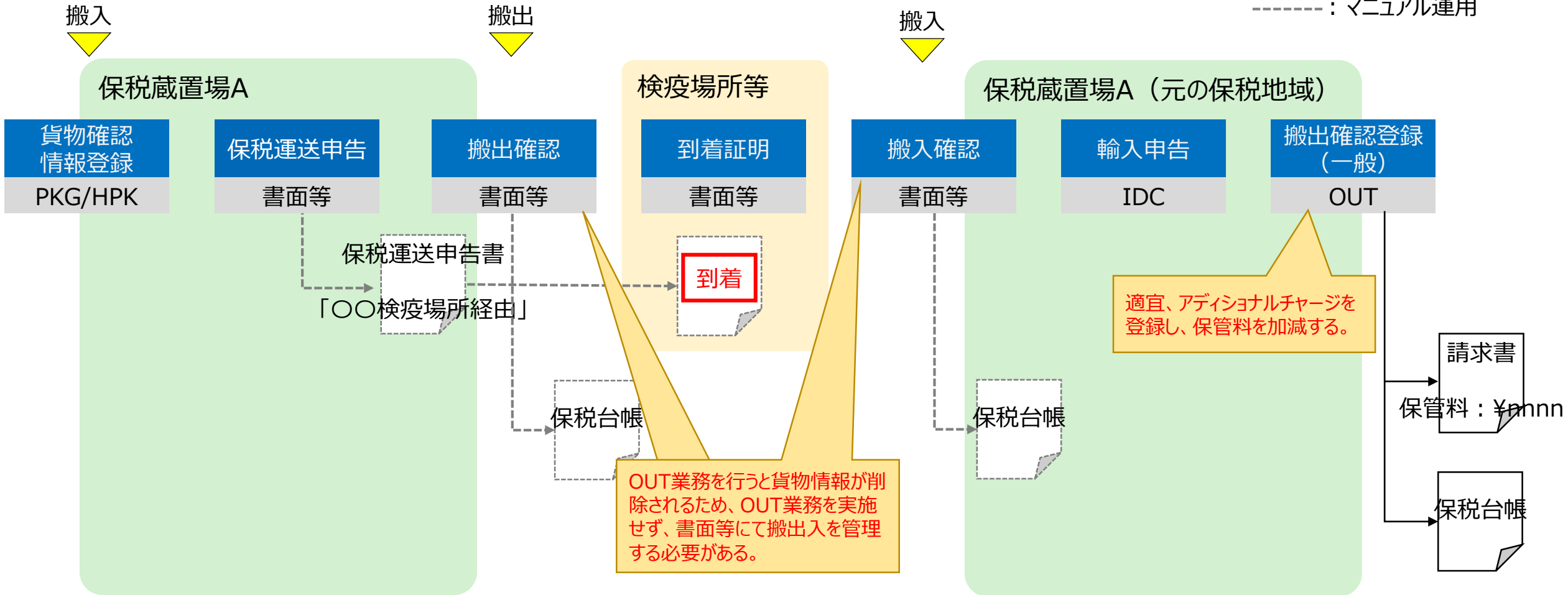
区 分	概 要
1. 検討項目	航空貨物におけるラウンド運送機能の追加
2. 変更要望	動物検疫/植物防疫/燻蒸指示/検疫（食品）の検査のための運送（ラウンド運送）について、システム化を行う。
3. 次期仕様	<p>3-1 ラウンド運送に係る、以下の対応を行う。（航空不参加蔵置場向けの運送を除く）</p> <ul style="list-style-type: none">・「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務に機能追加・搬出入業務の可能化 <p>3-2 ラウンド運送に限らず、マニュアル保税運送申告に係る搬出後に、システムでの航空貨物情報の管理を継続する。</p>

1	案件概要	2
2	現行仕様と変更仕様	
2-1	再搬入先が元の保税地域への運送	4
2-2	再搬入先が別の保税地域への運送（システムでの保税運送申告の場合）	8
2-3	再搬入先が別の保税地域への運送（マニュアルでの保税運送申告の場合）	11
3	業務別の変更仕様	14

現行仕様概要

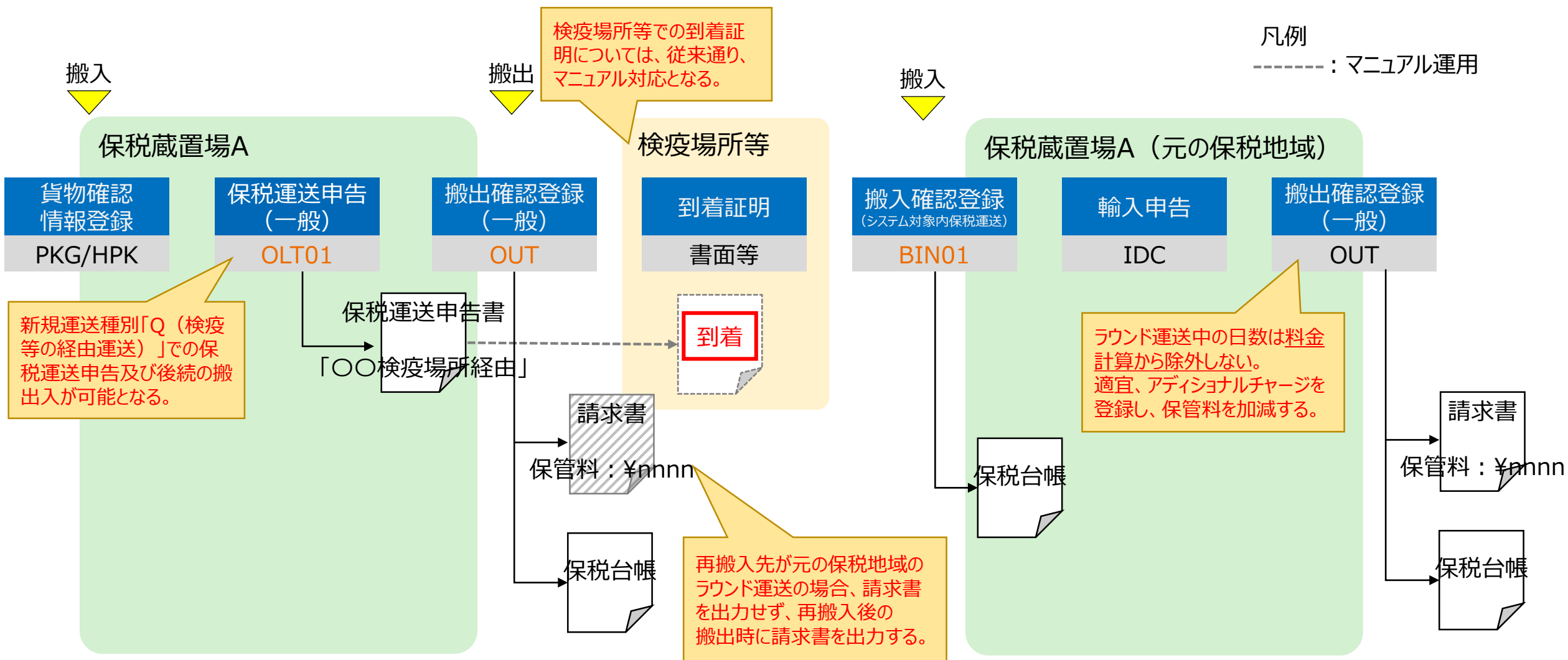
検疫場所等を経由して元の保税地域へ搬入する場合は、保税運送申告をシステムで行うことができない。また、保税運送申告をマニュアルで行う場合、ラウンド運送に限らず、システム外搬出の扱いとなり、搬出により貨物情報のシステム管理が終了となる。

凡例
----- : マニュアル運用



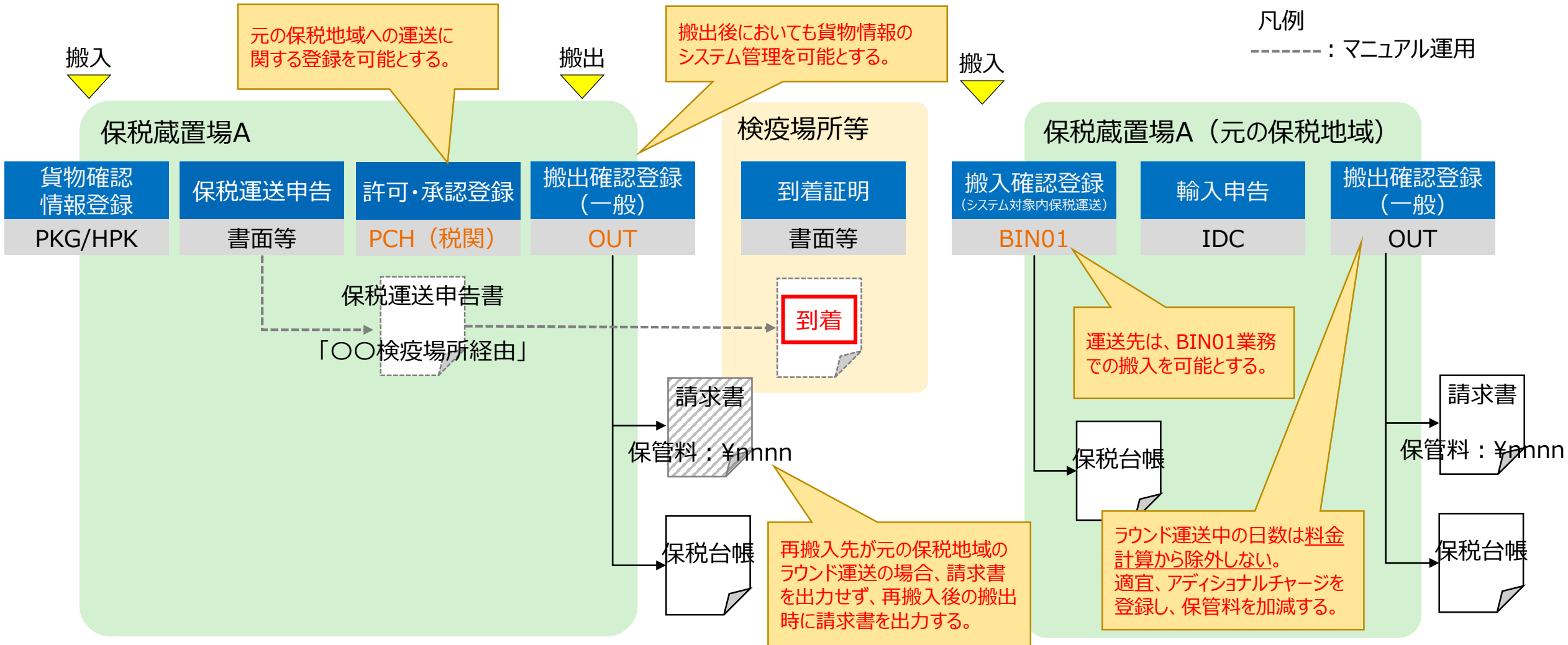
変更概要① システムでの保税運送申告の場合

「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務に新規運送種別「Q（検疫等の経由運送）」を追加する。当該種別を使用した場合に、元の保税地域への再搬入を可能とする。



変更概要② マニュアルでの保税運送申告の場合

マニュアルでの保税運送申告について、ラウンド運送に限らず、搬出後に貨物情報を削除することなく、「搬入確認登録（システム対象内保税運送）（BIN01）」業務での搬入を可能とする。



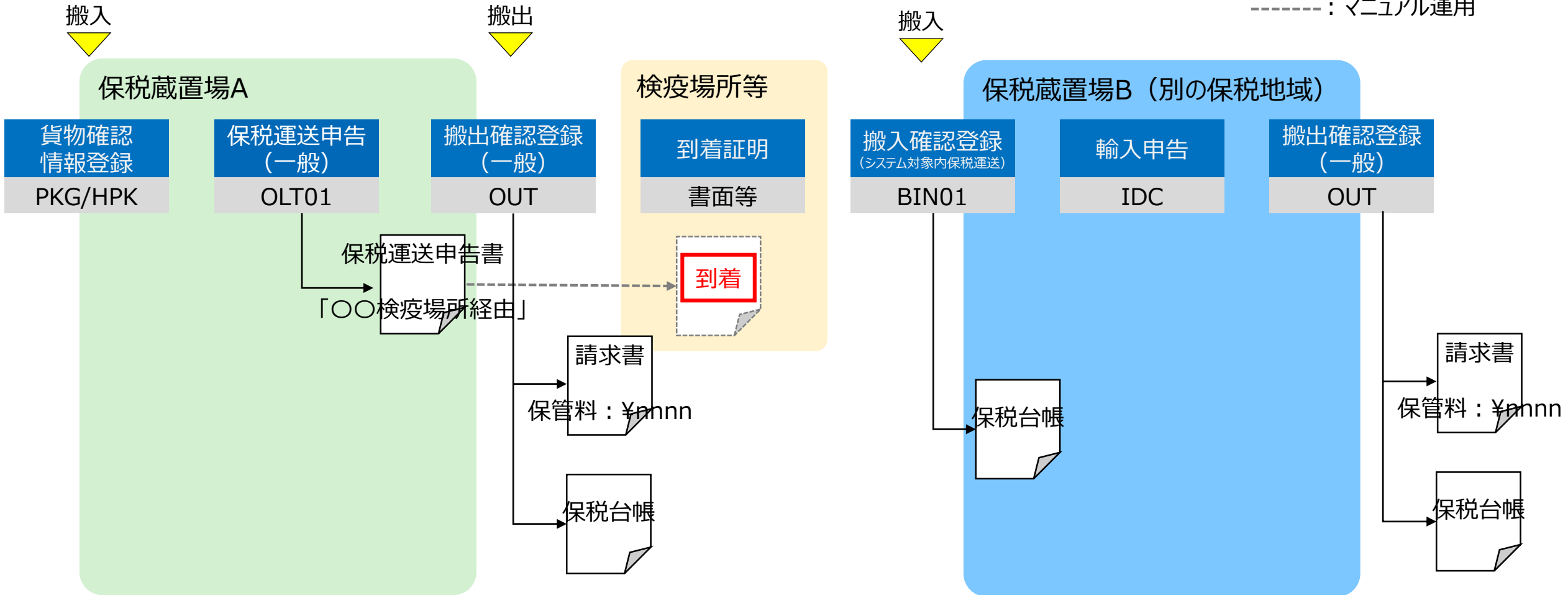
1	案件概要	2
2	現行仕様と変更仕様	
2 - 1	再搬入先が元の保税地域への運送	4
2 - 2	再搬入先が別の保税地域への運送（システムでの保税運送申告の場合）	8
2 - 3	再搬入先が別の保税地域への運送（マニュアルでの保税運送申告の場合）	11
3	業務別の変更仕様	14

2-2. 再搬入先が別の保税地域への運送（システムでの保税運送申告の場合）

現行仕様概要

検疫場所等を経由して別の保税地域へ搬入する場合は、「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務の「運送種別：スペース（一般運送）」にて対応している。

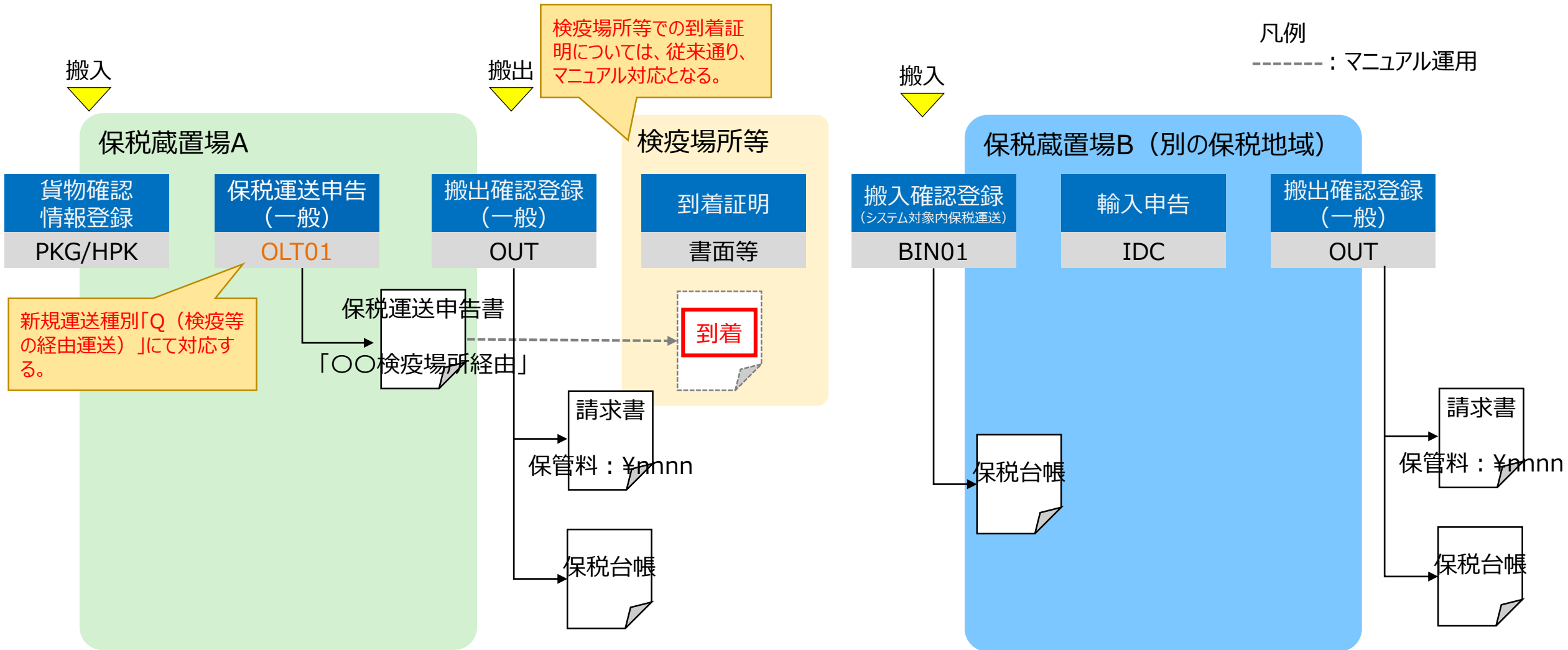
凡例
-----：マニュアル運用



2-2. 再搬入先が別の保税地域への運送（システムでの保税運送申告の場合）

変更概要

検疫場所等を経由して別の保税地域へ搬入する場合は、「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務の新規運送種別「Q（検疫等の経由運送）」にて対応する。



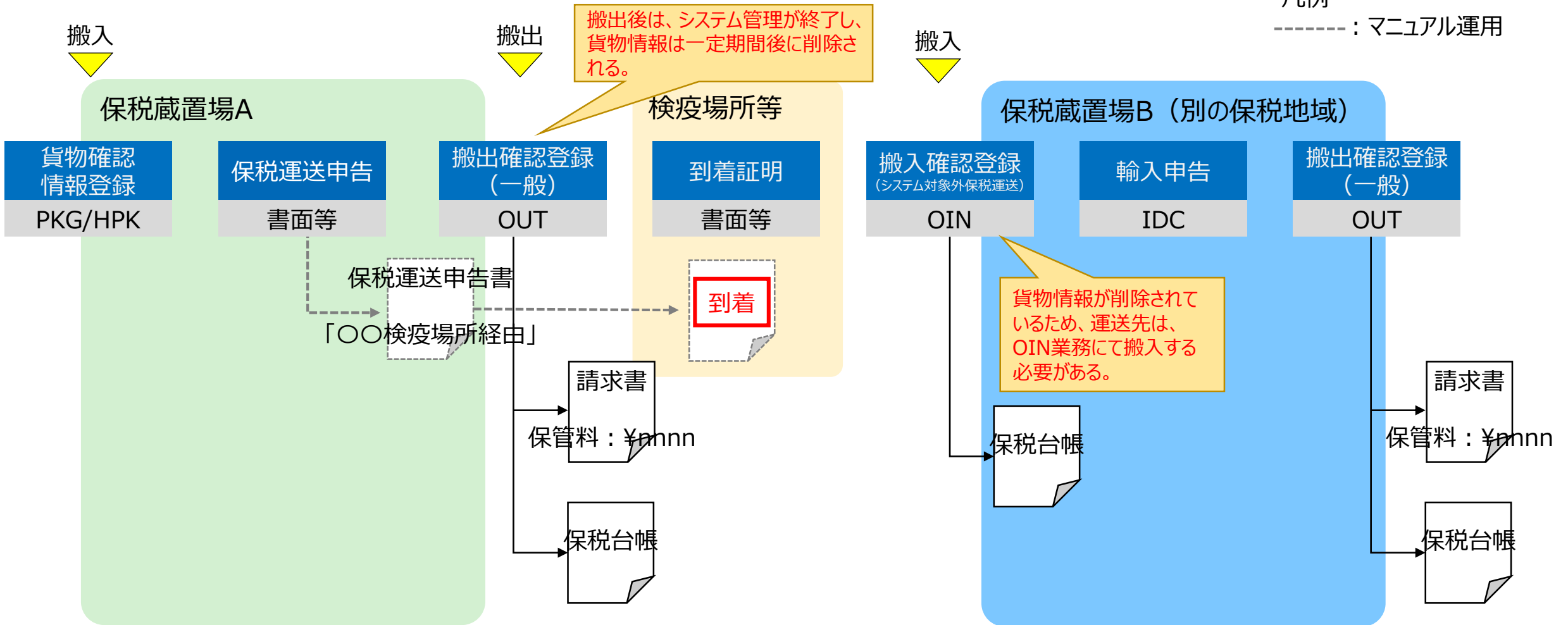
1	案件概要	2
2	現行仕様と変更仕様	
2 - 1	再搬入先が元の保税地域への運送	4
2 - 2	再搬入先が別の保税地域への運送（システムでの保税運送申告の場合）	8
2 - 3	再搬入先が別の保税地域への運送（マニュアルでの保税運送申告の場合）	11
3	業務別の変更仕様	14

2-3. 再搬入先が別の保税地域への運送（マニュアルでの保税運送申告の場合）

現行仕様概要

ラウンド運送に限らず、航空貨物の保税運送申告がマニュアルで行われた場合、システム外搬出の扱いとなり、貨物情報は搬出によりシステム管理が終了となる。（海上貨物のマニュアル保税運送申告においては貨物情報は削除されないため、海上・航空の仕様に差異がある状況）

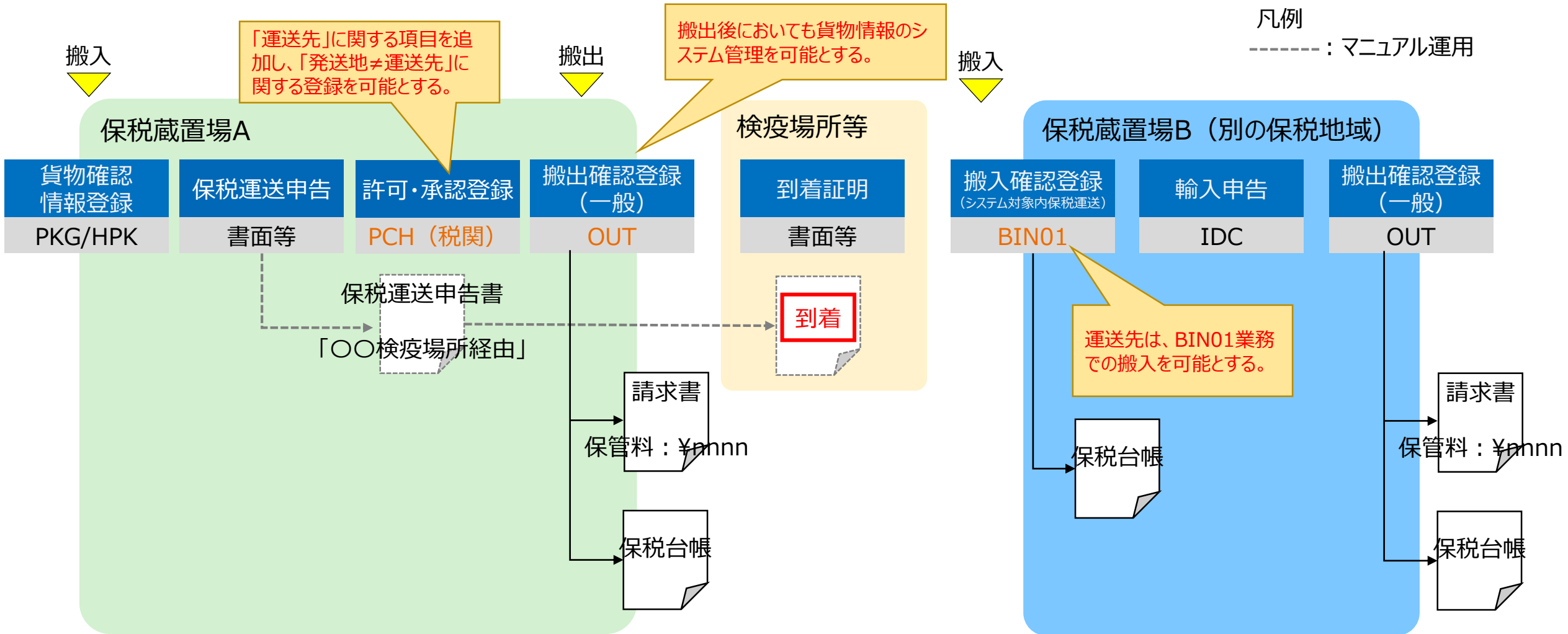
凡例
----- : マニュアル運用



2-3. 再搬入先が別の保税地域への運送（マニュアルでの保税運送申告の場合）

変更概要

ラウンド運送に限らず、航空貨物の保税運送申告がマニュアルで行われた場合、運送先にて「搬入確認登録（システム対象内保税運送）（BIN01）」業務での搬入を可能とする。

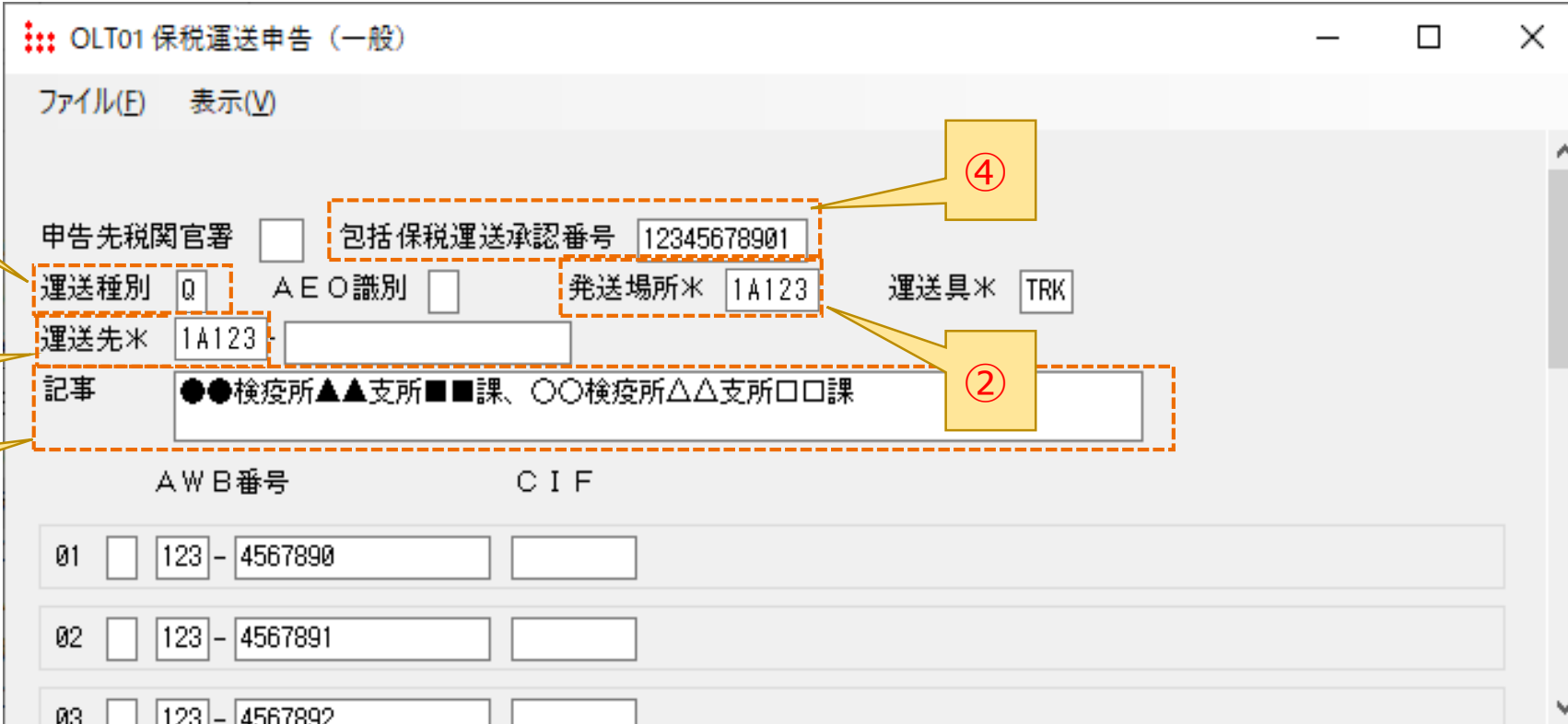


1	案件概要	2
2	現行仕様と変更仕様	
2 - 1	再搬入先が元の保税地域への運送	4
2 - 2	再搬入先が別の保税地域への運送 (システムでの保税運送申告の場合)	8
2 - 3	再搬入先が別の保税地域への運送 (マニュアルでの保税運送申告の場合)	11
3	業務別の変更仕様	14

保税運送申告（一般）（OLT01）業務

以下の変更を行う。

- ①「運送種別」に新規種別「Q（検疫等の経由運送）」を追加し、ラウンド運送に対する保税運送申告を可能とする。
- ②ラウンド運送の場合に限り、「発送場所 = 運送先」の入力を可能とする。
- ③ラウンド運送の場合、経由する検疫場所等を記事欄に入力する。複数経由する場合はまとめて入力する。
- ④ラウンド運送について、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を可能とする。



The screenshot shows the OLT01 tax transport declaration form. Callouts 1-4 highlight specific changes:

- ①: Points to the '運送種別' (Transport Type) field, which now includes 'Q'.
- ②: Points to the '運送先*' (Destination) field, which is now allowed to be the same as the '発送場所*' (Origin).
- ③: Points to the '記事' (Remarks) field, which now includes a legend for inspection locations: ●●検疫所▲▲支所■課, ○○検疫所△△支所□□課.
- ④: Points to the '包括保税運送承認番号' (Inclusive tax transport approval number) field, which is now present.

	AWB番号	CIF
01	<input type="checkbox"/> 123 - 4567890	<input type="text"/>
02	<input type="checkbox"/> 123 - 4567891	<input type="text"/>
03	<input type="checkbox"/> 123 - 4567892	<input type="text"/>

3. 業務別の変更仕様

包括保税運送申告 (TDC) 業務

航空に係る「運送種別：QU（検疫での経由運送）」での申告において、「発送地＝到着地」の入力を可能とする。
 なお、項目追加、運送種別追加は行わない。

TDC 包括保税運送申告

ファイル(E) 表示(V)

包括保税運送申告番号

承認期間 2025/12/01 から 2026/11/30

月間予想件数* 10 運送種別 QU

発送地 1A123

到着地1 1A123 2

運送日数 1

運送経路及び運送具 TRUCK

品名 HINMEI

関税法基本通達番号

記事 ●●検疫所▲▲支所■課、○○検疫所△△支所□□課

ラウンド運送の包括保税運送申告を行う場合は、既存種別の「QU」を入力する。
 NR：一般運送
 QU：検疫等の経由運送

システム識別※が航空で、運送種別が「QU」の場合に限り、「発送地＝到着地」の入力を可能とする。

※システム識別
 NACCSパッケージソフト業務画面の左上の箇所にて選択する

ラウンド運送の場合は記事欄に経由場所を入力